Doc. No.	APP 022U-06

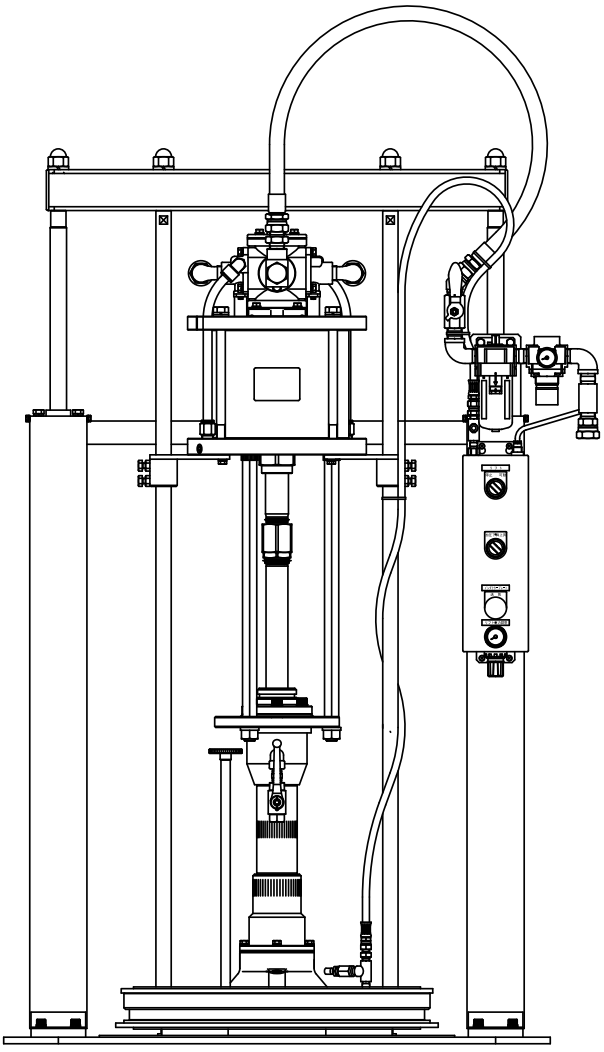
取 扱 説 明 書

ダブルエレベーターユニット

250 型 ドラムポンプ用

MODEL No. 853871

MODEL No. 854302



⚠ 警 告
安全のため、本機のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要事項を良く理解してください。 お読みになった後は、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

はじめに

このたびは、弊社製品をご購入頂き、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、ご購入頂いた製品を安全且つ快適にお使い頂くための方法が記載されております。使用なさる前に、良くお読みになり、内容を理解したうえで使用してください。
なお、ご使用中にご不明の点、不具合などがありましたら、お買い上げの販売店、または弊社各営業所までご連絡ください。
取扱説明書、注意ラベル等を汚損、紛失した場合には、速やかにお買い上げの販売店からご購入いただき保管・貼付してください。

目　次

1. 使用目的……2
2. 警告・注意事項……2
3. 使用上の注意事項……2
4. 各部の名称
   4.1 梱包内容……4
5. 取扱上の注意……4
6. 設置
   6.1 据付……5
   6.2 ドラム缶のセット……6
7. 使用方法……7
8. ドラム缶の交換……8
9. 作業終了後……8
10. 故障の点検と対策……9
11. 部品分解図・パーツリスト
   11.1 ダブルエレベーター（853871）……10
   11.2 ダブルエレベーター（854302）……12
12. 仕様……14
13. 該当ポンプ及びアクセサリー……14
14. 製品保証登録 FAX シート……15
15. 保証規定……16

1. 使用目的

本ユニットは、エア作動式ダブルエレベーターに、250 型エアパワードポンプを装着し、200L ドラム缶からグリースなどの高粘度材料の移送、圧送用に使用する装置です。
また、本ユニット構成内のインダクタープレートは、板パッキン（メタルシール仕様：ワイパー）を二段にすることでドラム缶内の材料を密閉することができ、材料汲み上げ時のサクション部の空洞化防止、さらに材料を最後まで効果的に汲み上げ、圧送することができます。
また、インダクタープレートの底にパンチングプレートを取付け、材料残りを最小限としました。（パッキンシール仕様のみ）
ダブルエレベーターのエアシリンダーに下限探知用のセンサーを標準で付けてあります。

2. 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。本書では、警告および注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

⚠ **警告：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ **注意：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。
表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。
表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

3. 使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

【使用環境・条件について】

⚠ 注 意

よく読んでからご使用ください。
本機を安全に正しくお使いいただくために、注意事項を理解してから使用してください。

取扱制限
本機の操作者・管理者は、本機の内容を理解していない者に操作させないでください。
本取扱説明書を紛失・損傷等した場合は、当社または代理店に発注してください。

【据付および配管について】

⚠ 注 意

作業を中断してください。
作業中、危険を感じた異常に気づいた時は、作業を中断し原因を取り除いてからやり直してください。

エアを切ってください。
メンテナンス作業をする時は、必ず供給エアを切って配管内の残圧を抜いてから行ってください。

正しく設置してください。
配管材、サイズなど注意事項に沿って適切な設置を行い、漏れや破損が無いように十分注意してください。

【使用方法について】

⚠ 警 告

理解してから作業してください。
作業者・保守要員の方は、本機及びこれに関連するポンプの操作、または保守を行う前に取扱説明書をよく読んで、完全に理解できるまでは作業を行わないでください。

適用外使用禁止
本機の仕様・規定された用途以外に使用すると、人身事故や物損事故の原因となります。
製品仕様に基づいて使用してください。

【分解および保守・点検について】

エアを切ってください。
エアを入れたまま作業を行うと、材料が吐出するなどの恐れがあります。
作業をする時は、必ずエアを切り装置を停止させて配管内の残圧を抜いてください。

改造禁止
本機を改造すると、人身事故や故障を生じる恐れがあります。危険ですので、絶対に改造しないでください。

本機から排出される材料によっては、有害物となる物もあります。
必ず容器に排出してください。地面等に直接排出しないでください。

消耗部品の消耗時間について
取扱材料や運転条件により寿命に大きな違いがあります。本来の性能が著しく低下しているようであれば、部品を新品と交換してください。

⚠ 注 意

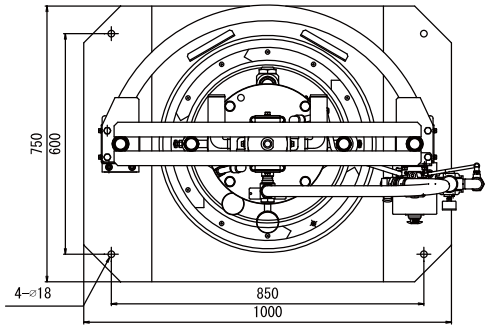
送気バルブの性能上、わずかにエアが漏れる場合があり、インダクタープレートから材料容器内にエアが混入する恐れがあります。材料容器内へエアの混入を嫌う場合は、別途ご相談ください。

【運転休止および保管について】

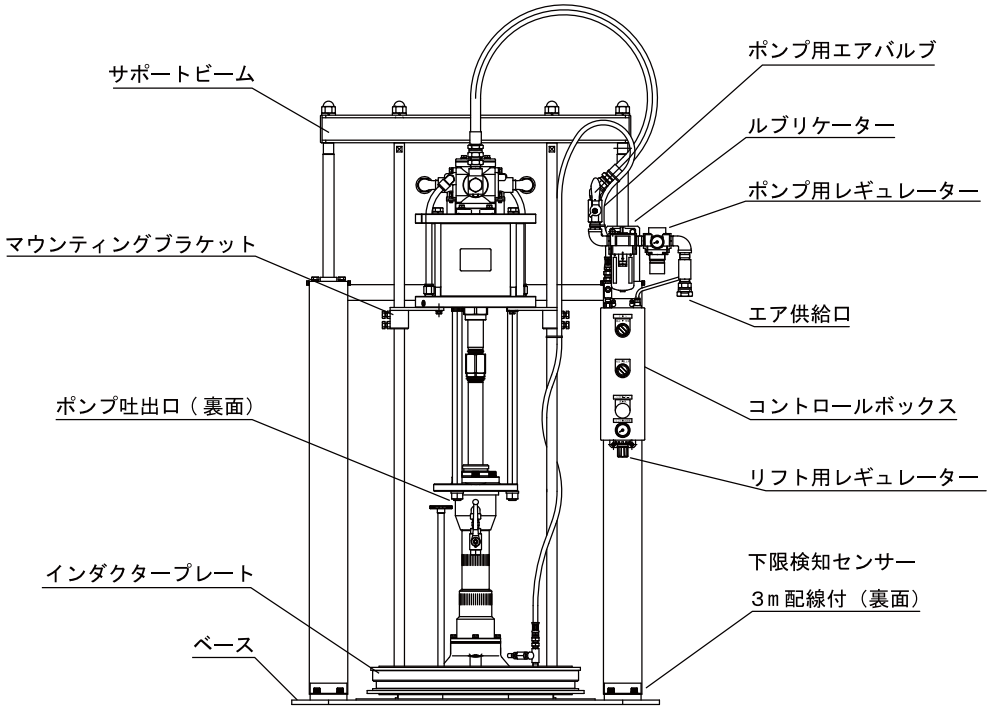
⚠ 注 意

長時間使用（１週間以上）しない場合、または停止する場合
本機内の材料を抜いて洗浄してください。
材料供給圧力を解放してください。

4. 各部の名称



（図はパッキンシール仕様を表示）



4.1 梱包内容

本機は、木枠にて梱包されています。
搬送中の振動等による損傷、並びに締付部位の緩みはないか、また付属品の有無等について確認してください。

5. 取扱上の注意

⚠ 注 意

- 手などをインダクタープレートとドラム缶の間に挟まれない様、充分注意してください。このリフトは、供給エア圧力 0.5MPa の時、約 450kgf で加圧しますので大変危険です。
  また、リフト空気調整の設定圧力は通常 0.5MPa とし、最高使用圧力 0.85MPa を超えないよう十分注意してください。
- リフトのスピードコントローラーはさわらないでください。
  工場出荷時に昇降速度は調整済みです。
- 緊急の場合は、コントロールボックスのリフトスイッチを『停止』にしてください。
- 装置への供給エア圧力は、1.0MPa 以下にしてください。
- ポンプへの供給エア圧力は、必ず 0.7MPa 以下で運転してください。

6. 設置　（図はパッキンシール仕様を表示）

⚠注 意

エアホースを装置へ接続する前に、必ずエアレギュレーターを左（反時計方向）回し切ってからホースを接続してください。

リフトを昇降させる時、体とリフトの間を充分離して操作してください。絶対に手を入れないでください。

ドラム缶を装着する際、ドラム缶とインダクタープレートの間に手などを入れないでください。

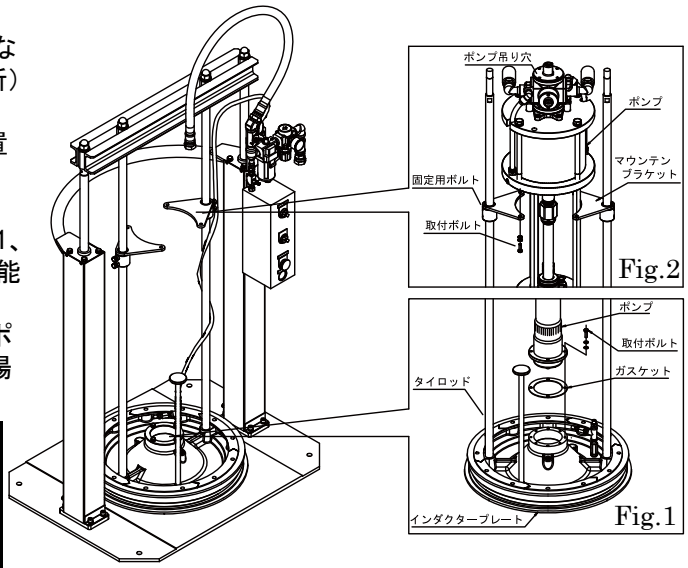
挟まれて、思わぬケガをする場合があります。

本機は、リフト上昇時最大高 2,641mm となります。設置の際は、周囲の設備状況に注意してください。

メンテナンススペースを確保してください。

6.1 据付

1. 装置の設置は、平坦で他の機器類に影響を及ぼさない場所（ポンプの排気により周囲に影響の無い場所）を選んで据付を行ってください。
2. リフトは最高 2,641mm まで上昇しますので、設置の際はリフトの昇降に支障のないことを確認の上設置場所を決めてください。
3. ポンプはパッキンシール仕様で、10×1、20×1、40×1、55×1 レシオ、メタルシール仕様で 47×1 が搭載可能です。
4. 通常、ポンプを取付けた状態で納入されますが、ポンプメンテナンス、または交換のために取外した場合は、下記要領で取付けを行ってください。



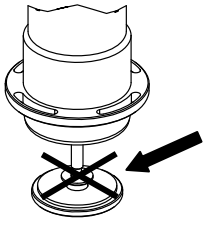
⚠注意

ポンプは 65kg 以上の質量があり、チェーンブロック等を使用してケガをしないよう十分注意して作業を行ってください。

1）インダクタープレート部にガスケットを介してポンプ下部のフランジをボルトで固定してください。（Fig.1）

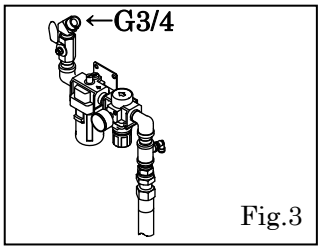
NOTE
・ポンプをチェーンブロック等で吊り上げる時は、Fig.2 のポンプ上部フランジにあるポンプの吊り穴（φ18×2 箇所）を利用してください。

・ポンプ取付けの際、ポンプ下側のショベルが引っ込んでいる状態で取付けのこと。ショベル部分が飛び出したまま取付けると、プランジャーロッドを曲げてしまい、ポンプの吸込み不良になります。



2）マウンティングブラケットにポンプ部をボルトにより固定してください。（Fig.2）
マウンティングブラケットは固定用ボルトを緩めることにより、自由に位置調整が出来ますので、ポンプの長さに合わせて調整の上固定してください。固定用ボルトを固定する際は、緩み止め用ナットでしっかりと固定してください。

5. 吐出口にホース接続をし、装置の設置が完了しましたら、装置への供給エアの接続を行ってください。
<u>・エア接続する前に、エアレギュレーターのツマミを反時計方向に回し切ってください。</u>
6. ポンプへの接続は、ポンプ用エアバルブの G 3/4 のネジにエアホースのユニオンアダプターを接続してください。（Fig.3）



6.2 ドラム缶のセット

1. インダクタープレートを昇降させる前に、コントロールボックスの切替スイッチを『下降』にセットし、もう一方の切替スイッチを『停止』にセットしてください。(Fig.4)
2. コントロールボックスの切替スイッチを『可動』と『上昇』にしてください。リフト用のレギュレーターのツマミを時計回りに回し、エア圧力を 0.4MPa 前後にすると、リフトが徐々に上昇します。通常の場合 0.5MPa に設定してください。
3. インダクタープレートのエア抜きプラグを左に３回程回してエア抜きの状態にしてください。
4. 200L ドラム缶をインダクタープレートの真下になる様にベースプレートのストッパーに合わせてセットしてください。(Fig.5)
5. コントロールボックスの切替スイッチを『下降』にし、インダクタープレートの底が、ドラム缶の縁の直前で切替スイッチを『停止』にする。ドラム缶の位置をインダクタープレートの中心と合うように修正してください。(Fig.5)

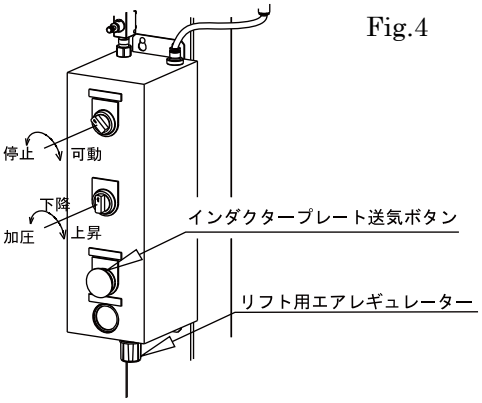


Fig.4

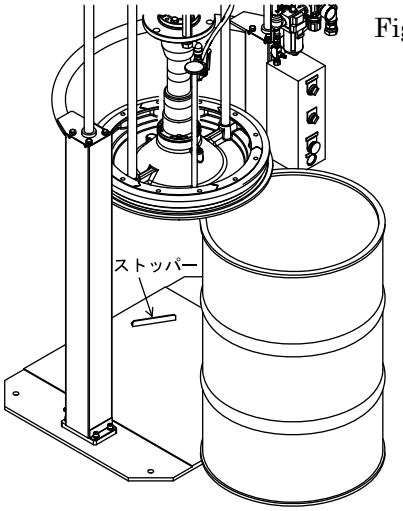


Fig.5

⚠ 注 意

❗ リフトの昇降時に不具合を生じた場合は、速やかにコントロールボックスの切替スイッチを『停止』にし、作動を停止してください。

6. ドラム缶の修正後、切替スイッチを『可動』と『下降』にし、インダクタープレートをドラム缶の中に入れていく。その際、ドラム缶の中に入りにくい場合は、切替スイッチを『加圧』に 2～3 秒間隔で切替ながら下降させてください。インダクタープレートのエア抜きからドラム缶内の材料が　出てきたら、切替スイッチを『下降』に戻して、エア抜きプラグ（Fig.6）を確実に閉めてください。しばらくしてもエア抜きから材料が出てこない場合は、リフト用レギュレーターにより徐々に圧力を上げ、エア抜きから材料が出る最低限のリフト空気調整圧力に設定してください。ただし、リフト空気調整圧力は 0.85MPa を超えないよう十分注意してください。

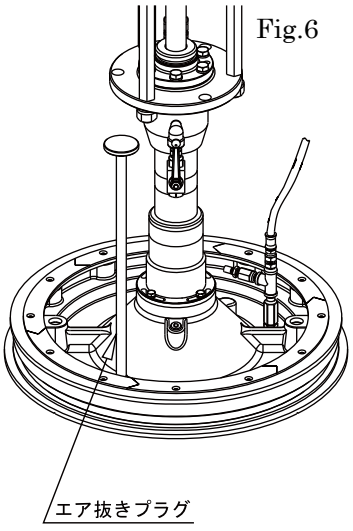
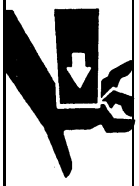


Fig.6

⚠ 注 意



リフトの昇降時、手はツマミ以外の場所には絶対に触れないでください。
リフトとリフトベースの間に挟まれてケガをする恐れがあります。

エアパージ禁止事項

・リフト停止時にインダクタープレートの送気ボタンを押すことを禁止します。
・リフト加圧時にインダクタープレートの送気ボタンを押すことを禁止します。

・ドラム缶を交換する時、ドラムのフチをもって出し入れをしないでください。下降時にインダクタープレートに手をはさまれケガをする恐れがあります。

7. 使用方法

⚠ 注 意

ブリーダバルブから材料が吐出される際、圧縮された空気が材料とともに飛散する恐れがあるため、ブリーダバルブに顔を近づけないこと。

ルブリケーターに給油をしてください。使用オイルは、タービン油 1 種（無添加）ISO VG32 を使用してください。（ルブリケーターの補給量は、およそ 1 滴が 0.05mL です。ポンプの作動空気圧と運転状態で変わりますが、ポンプ運転状態 5 分で 1 滴程度の補給量にニードルで調整してください。）

ポンプの最高使用エア圧は 0.7MPa です。これ以上の圧力での使用は破損等による人身事故・物損事故を招くことがあります。絶対に 0.7MPa 以上にセットしないでください。

エアモーターと下ポンプを接続する 3 本のスタッドの中に手を入れないでください。往復動するプランジャーによって指をケガすることがあります。

ルブリケーターにオイルを入れてください。

1. ポンプ吐出口の先のバルブを閉め、ポンプのブリーダバルブのレバーを反時計方向に回し、バルブを開く。（Fig.7）
2. ポンプ作動用のバルブのレバーを開け、ポンプ用のレギュレーターのツマミを時計方向に徐々に回し、ポンプが 1 分あたり 8～10 ストロークで微作動するようにエア圧力を調整し、材料を汲み上げる。
3. 材料がなかなか汲み上げられない場合は、コントロールボックスの切替スイッチを『加圧』⇔『下降』を 2～3 秒間隔で繰り返し、インダクタープレートで加圧しながら材料が押し上げられるようにする。材料が汲み上げられたら、切替スイッチを『下降』に戻す。
4. ブリーダバルブより材料が出てきますが、始めはエアが混入しています。エアが出なくなるまでポンプを作動させ、材料にエアが混じらなくなったら、ポンプの作動用のバルブを閉じ、ブリーダバルブも閉める。各接続部、配管からエア漏れ、材料漏れが無いか確認してください。
5. ポンプ用のレギュレーターを使用に必要なエア圧力に調整してください。（Fig.8）

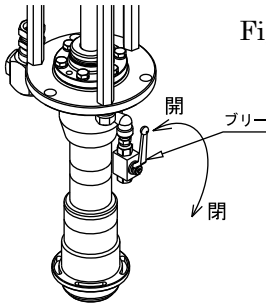


Fig.7

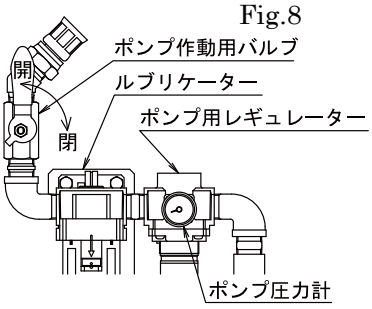


Fig.8

NOTE
・エアレギュレーターは、ポンプへの供給エア圧力を調整することにより、ポンプの無駄な動きを少なくし、作業性を良くします。それによりポンプの寿命が長くなります。エアレギュレーターでのエア圧力調整方法は、ツマミを右に回すと増圧（圧力計の指針が“0”から徐々に数値が上がる）され、左に回すと減圧（圧力計の指針が逆に“0”に戻る）されます。

6. 吐出口から先に接続した、バルブ・ガンを開き材料を吐出させる。閉じると、吐出が止まりポンプも停止します。
7. 作業を中断する時は、ポンプ・リフトへのエア供給を止めます。また、吐出口から先のバルブ・ガンを開き、ポンプ・配管内の圧力を抜いておいてください。

NOTE
・材料は、インダクタープレートで外気と遮断されていますので、ポンプ・ホース内で固まることはありません。

・作業終了・休日等でポンプを作動させない場合、プランジャーロッドを最下限位置で停止してください。（ポンプ作動用バルブで調整し、ポンプを最下限位置に停止させる。）
材料によってはプランジャーロッドに付着した材料が固着・乾燥し、パッキン類をキズつけるのを防止する為です。

8. 材料が無くなると、ポンプは空打ちします。ポンプ用のバルブを閉じ、レギュレーターのエア供給圧力を“0”に戻して、ポンプを止めてください。

8. ドラム缶の交換

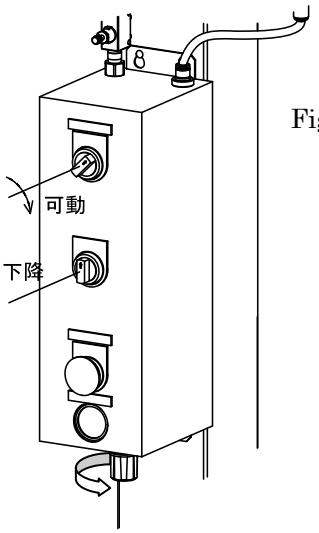


Fig.9

1. 材料が無くなりますと、ポンプは空運転をし、作動が早くなります。
2. ポンプ用エアレギュレーターのツマミを左に回し、ゲージの指針を“0”に戻してください。
3. コントロールボックスの切替スイッチを『可動』と『下降』にしてください。(Fig.9)
4. リフト用のレギュレーターのツマミを時計回りに回し、エア圧力を0.5MPa にします。『送気』ボタンを押すとドラム缶にエアが溜まり、ポンプを押し上げながらリフトを徐々に上昇させます。(Fig.9)
5. インダクタープレートがドラム缶から抜けたら、コントロールボックスの切替スイッチを『下降』から『上昇』に切替えてください。
6. **ドラム缶を外す前に、必ず切替スイッチは『上昇』**にセットしておいてください。(Fig.10)
7. 新しいドラム缶の装着は、ドラム缶のセット（6 頁参照）の項に従って行ってください。

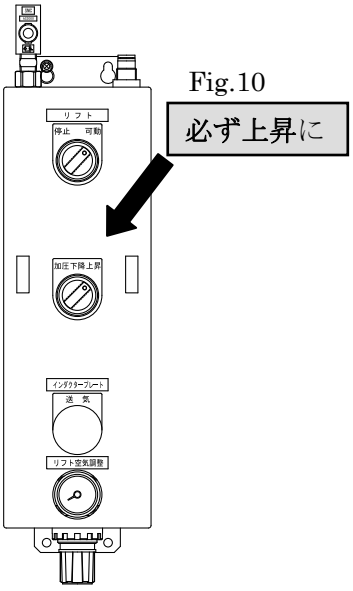


Fig.10

9. 作業終了後

1. ポンプは作動用バルブを閉じて、ポンプ用エアレギュレーターのツマミを左に回し、供給圧力を“0”に戻してください。

⚠ 注 意

作業終了後、または長時間使用しない場合は、必ずエアを切ってポンプへのエア供給を止めると共に材料出口先端のバルブまたはガン等のバルブを開いてポンプ・配管内の残圧を抜いてください。
エアを遮断しないために、ホース・配管の損傷・バルブ・ガン等の漏れにより施設を汚染させる等、二次災害に関しては使用者側の責任となります。

2. リフトは、コントロールボックスの切替スイッチを『下降』と『停止』にしてください。

10. 故障の点検方法と対策

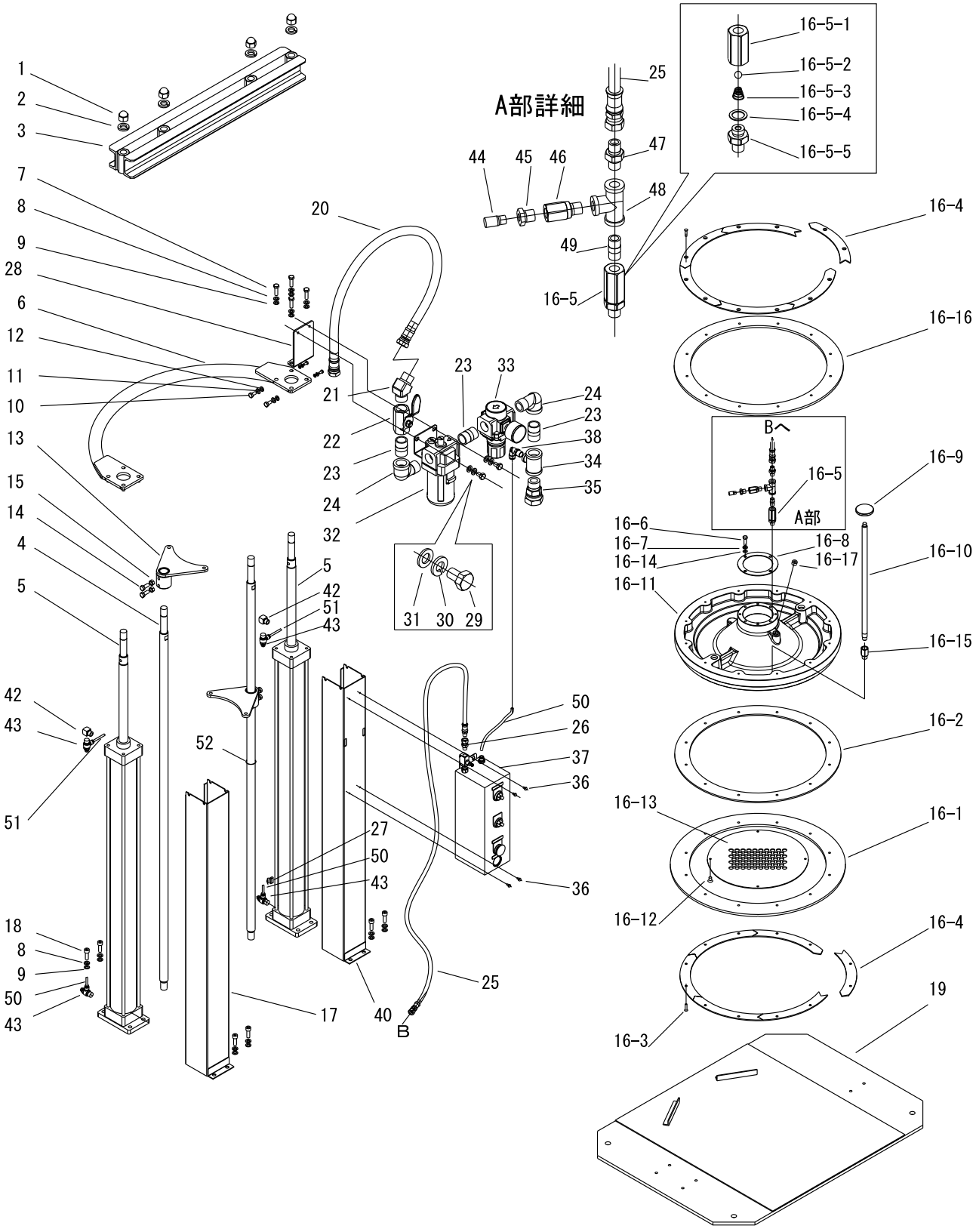
状況	考えられる理由	対策・処置
エア抜きしたにもかかわらず材料にエアが混じる	ドラムの内径サイズが大きいドラムを使用している	JIS 規格サイズのドラムを使用する
	エア抜きバルブが緩んでいる	エア抜きバルブを締める
	＜パッキンシール仕様＞ インダクタープレートのパッキンが劣化している ＜メタルシール仕様＞ インダクタープレートのワイパーが劣化している	パッキンの交換 ワイパーの交換
	下ポンプの部品接続部ねじの緩み、O リング・バックアップリング・ガスケットの破損	異常箇所の増し締め、または部品交換
インダクタープレートの周囲から材料が漏れる	ドラムの内径サイズが大きいドラムを使用している	JIS 規格サイズのドラムを使用する
	ドラム缶の側面に凹凸がある	凹凸の無いドラム缶を使う
	＜パッキンシール仕様＞ インダクタープレートのパッキンが劣化している ＜メタルシール仕様＞ インダクタープレートのワイパーが劣化している	パッキンの交換 ワイパーの交換
リフトが作動（昇降）しない	コンプレッサーが作動していない	コンプレッサーを作動させる
	エアが供給されていない	エアを供給させる
	エア配管のバルブが閉じている	バルブを開ける
	コントロールボックスの切替スイッチが『停止』になっている	コントロールボックスの切替スイッチを『可動』にする
	エア圧力設定が低い	エア圧力設定を 0.5MPa に調整する
	ドラム缶の側面に凹凸がある	凹凸の無いドラム缶を使う
	リフトエアシリンダーの円筒部が潰れている	部品の交換
リフト上昇時にドラムも一緒に上がってしまう	コントロールボックスの切替スイッチが『上昇』になっている	『下降』にする
「送気」ボタンを押してもリフトが上昇しない	コントロールボックスの切替スイッチが『加圧』になっている	『下降』にする
	インダクタープレートのエア抜きバルブが締まっていない	エア抜きバルブを締める

・次項に部品分解図を掲載しますが、これは弊社サービスマン、または販売店修理担当員の参考資料ですのでこれを参考にして分解しないでください。本機は大型重量物ですので、安易に分解など行いますとケガ等の恐れがあります。故障等不都合が発生いたしましたら、裏面に記載する弊社営業所に必ず修理を依頼してください。

11. 部品分解図・パーツリスト

11.1 ダブルエレベーター（853871）

■部品分解図



■パーツリスト

No.	部品番号	部　品　名　称	員　数
1	630297	袋ナット	4
2	631427	バネ座金	4
3	832771	サポートビーム	1
4	709144	タイロッド	2
5	685622	エアシリンダー	2
6	832753	タイビーム	1
7	611175	ボルト	8
8	631421	バネ座金	16
9	631014	平座金	16
10	611097	ボルト	8
11	631418	バネ座金	8
12	631012	平座金	8
13	832754	マウンティングブラケット	2
14	611173	ボルト	4
15	627013	ナット	4
16-1	770218	パッキン	1
16-2	770217	パッキン	1
16-3	686010	皿小ネジ	24
16-4	715317	プレート	12
16-5	800977	チェックバルブ	1
16-6	611149	ボルト	4
16-7	631420	バネ座金	4
16-8	772150	ガスケット	1
16-9	701764	ツマミ	1
16-10	715802	バルブロッド	1
16-11	715185	フォロープレート	1
16-12	685665	皿小ネジ	4
16-13	715186	フィルター	1
16-14	631013	平座金	4
16-15	715803	ソケット	1
16-16	772950	パッキン	1
16-17	634362	六角穴付プラグ	1
17	832755	カバー	1
18	681299	六角穴付ボルト	8
19	832756	ベース	1
20	695787	ホース	1
21	685623	45°エルボ	1
22	681882	ボールバルブ	1
23	634805	バレルニップル	3
24	634034	ストリートエルボ	2
25	695788	ホース	1
26	680080	ユニオンアダプター	1
27	686084	スイッチ	1
28	715268	ブラケット	1
29	611143	ボルト	2
30	631420	バネ座金	2
31	631013	平座金	2
32	685625	ルブリケーター	1

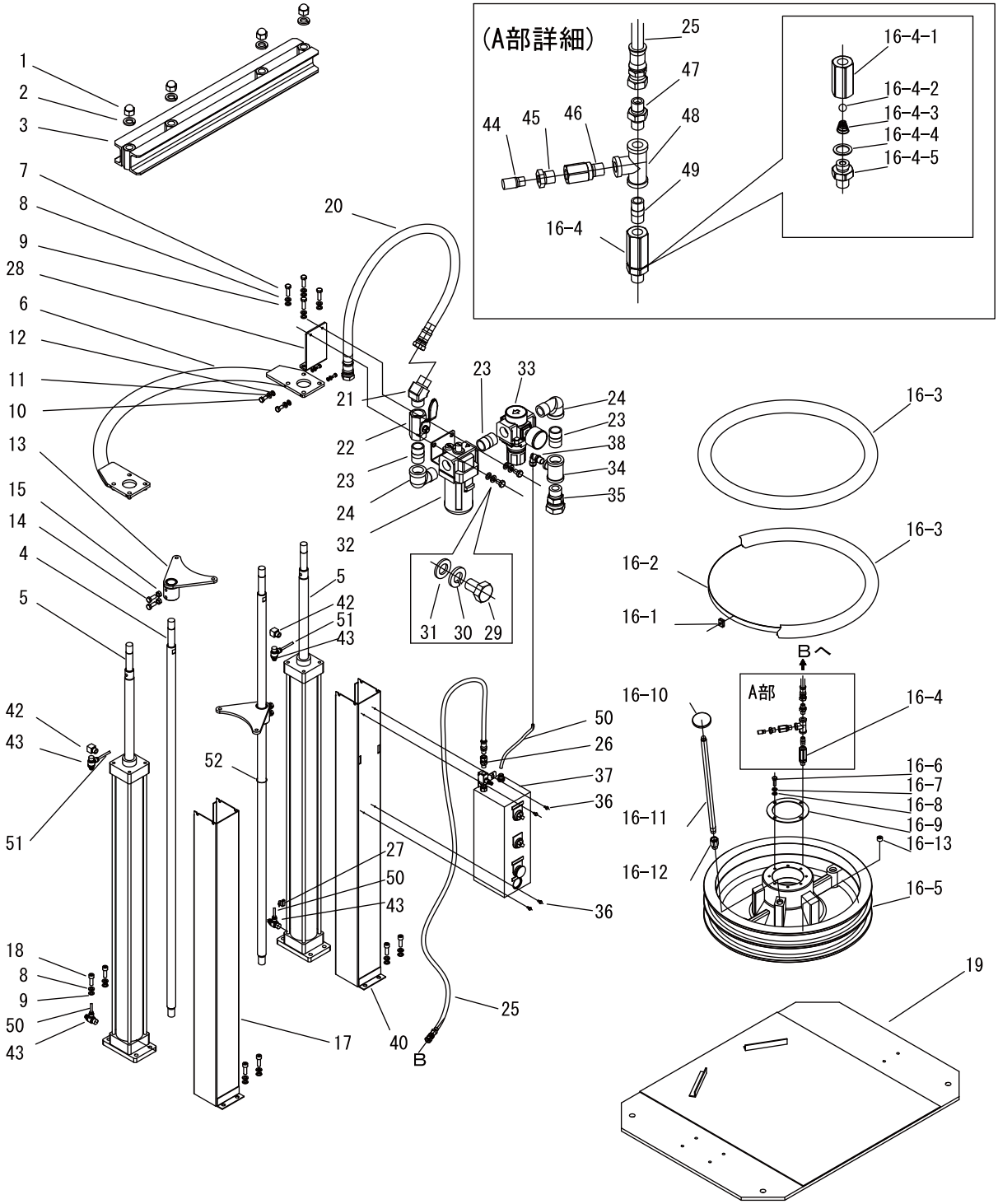
No.	部品番号	部　品　名　称	員　数
33	685626	レギュレーター	1
34	634415	チーズ	1
35	680082	ユニオンアダプター	1
36	683606	バネ座平座付ナベ小ネジ	4
37	804585	コントロールボックス	1
38	683585	エルボフィッティング	1
40	832900	カバー	1
42	683242	PT エルボ	2
43	686005	スピードコントローラー	4
44	681170	サイレンサー	1
45	634595	ブッシュ	1
46	685680	リリーフバルブ	1
47	680294	ニップル	1
48	634061	チーズ	1
49	634802	バレルニップル	1
50	570127	チューブ（黒）	1
51	570178	チューブ（白）	1
52	685658	結束バンド	3

800977 チェックバルブ

16-5-1	704407	バルブボディ	1
16-5-2	630316	ボール	1
16-5-3	704408	テーパースプリング	1
16-5-4	706513	座金	1
16-5-5	704409	ユニオン	1

11.2 ダブルエレベーター(854302)

■部品分解図



■パーツリスト

No.	部品番号	部　品　名　称	員　数
1	630297	袋ナット	4
2	631427	バネ座金	4
3	832771	サポートビーム	1
4	709144	タイロッド	2
5	685622	エアシリンダー	2
6	832753	タイビーム	1
7	611175	ボルト	8
8	631421	バネ座金	16
9	631014	平座金	16
10	611097	ボルト	8
11	631418	バネ座金	8
12	631012	平座金	8
13	832754	マウンティングブラケット	2
14	611173	ボルト	4
15	627013	ナット	4
16-1	680236	バックル	2
16-2	680237	バンド	2
16-3	770298	ワイパー	2
16-4	800977	チェックバルブ	1
16-5	716094	フォロープレート	1
16-6	611149	ボルト	4
16-7	631420	バネ座金	4
16-8	631013	平座金	4
16-9	772150	ガスケット	1
16-10	701764	ツマミ	1
16-11	715802	バルブロッド	1
16-12	715803	ソケット	1
16-13	634362	六角穴付プラグ	1
17	832755	カバー	1
18	681299	六角穴付ボルト	8
19	832756	ベース	1
20	695787	ホース	1
21	685623	45°エルボ	1
22	681882	ボールバルブ	1
23	634805	バレルニップル	3
24	634034	ストリートエルボ	2
25	695788	ホース	1
26	680080	ユニオンアダプター	1
27	686084	スイッチ	1
28	715268	ブラケット	1
29	611143	ボルト	2
30	631420	バネ座金	2
31	631013	平座金	2
32	685625	ルブリケーター	1
33	685626	レギュレーター	1
34	634415	チーズ	1
35	680082	ユニオンアダプター	1

No.	部品番号	部　品　名　称	員　数
36	683606	バネ座平座付ナベ小ネジ	4
37	804585	コントロールボックス	1
38	683585	エルボフィッティング	1
40	832900	カバー	1
42	683242	PT エルボ	2
43	686005	スピードコントローラー	4
44	681170	サイレンサー	1
45	634595	ブッシュ	1
46	685680	リリーフバルブ	1
47	680294	ニップル	1
48	634061	チーズ	1
49	634802	バレルニップル	1
50	570127	チューブ（黒）	1
51	570178	チューブ（白）	1
52	685658	結束バンド	3

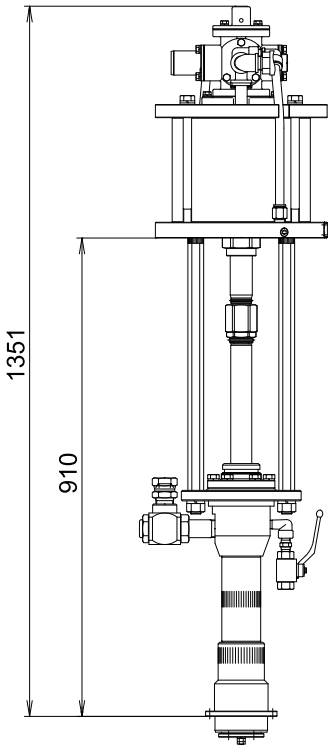
800977 チェックバルブ

16-4-1	704407	バルブボディ	1
16-4-2	630316	ボール	1
16-4-3	704408	テーパースプリング	1
16-4-4	706513	座金	1
16-4-5	704409	ユニオン	1

12. 仕 様

製品番号	ポンプ有	881101	881102	881057	881058	881104
	ポンプ無	853871				854302
型式（ポンプ有）		SR250P10DWAL	SR250P20DWAL	SR250P40DWAL	SR250P55DWAL	SR250M47DWAL
使用流体		圧縮エア				
下限検知用センサー		2 線 DC12・24V／AC100・200V				
装置最高供給エア圧力		1.0 MPa				
ポンプ供給エア圧力範囲		0.2～0.7 MPa				
リフト空気調整圧力範囲		0.4～0.85 MPa（通常設定圧力：0.5MPa）				
質量	ポンプ有	266 kg	258 kg	251 kg	251 kg	251 kg
	ポンプ無	180 kg				185 kg

13. 該当ポンプ及びアクセサリー（図はパッキンシール仕様）



パッキンシール仕様用のダブルエレベーターユニット（200L ドラム缶仕様：853871）には、250 型高粘度ポンプシリーズを、そのまま搭載することができます。ポンプは、レシオ（圧縮倍率）によって、４機種用意しております。

854298　10×1 レシオ ポンプ （パッキンシール仕様）
854299　20×1 レシオ ポンプ （パッキンシール仕様）
853869　40×1 レシオ ポンプ （パッキンシール仕様）
853870　55×1 レシオ ポンプ （パッキンシール仕様）

メタルシール仕様用のダブルエレベーターユニット（200L ドラム缶仕様：854302）にも、250 型高粘度ポンプを、そのまま搭載することができます。

854301　47×1 レシオ ポンプ （メタルシール仕様）

14. 製品保証登録ＦＡＸシート

・　お手数ですが､下記のＦＡＸシートをコピーして必要事項をご記入の上､弊社宛てにご送信ください。
（フリガナ指定の箇所は、必ずご記入ください。）

製品保証登録ＦＡＸシート

フリガナ 貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿	フリガナ ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿
フリガナ ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿	ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿ ご連絡先 Ｔｅｌ．（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿ Ｆａｘ．（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿

■貴社の業種を下記より選んで〇で囲んでください。

1.ガソリンスタンド	2.自動車整備業	3.自動車部品製造
4.車両・造船業	5.製鉄業	6.機械加工業
7.機械製造業	8.電気機械器具製造	9.半導体製造業
10.化学・プラント	11.建築・土木	12.塗料・インキ製造業
13.薬品・樹脂	14.食品製造業	15.塗装業
16.鉄道・バス・運輸業	17.窯業・陶器製造	18.印刷産業
19.鋳造業	20.石油産業	21.電気部品製造
22.軽金属・非鉄	23.織物・家具	24.バルブ

25.その他（詳しくご記入ください。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

■本機をお知りになったきっかけを○で囲んでください。

新聞	1.日刊工業新聞	2.日本工業新聞	3.日経産業新聞
	4.日刊自動車新聞	5.燃料油脂新聞	6.その他の新聞
雑誌	7.IEN	8.化学装置	9.IPG　10.その他の雑誌
	11.販売員に薦められて	12.展示会	13.カタログで

ご購入年月日	＿＿＿＿ 年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日	ご購入目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿
ご購入販売店		ご使用条件 1.取扱材料（液剤） ＿＿＿＿＿＿＿＿ 2.流量（吐出量） ＿＿＿＿＿＿＿＿
製品名（型式）		
製品番号		
SERIAL No.		3.吐出圧力 ＿＿＿＿＿＿＿＿
LOT No.		

宛先

株式会社 ヤマダコーポレーション
営業部　製品保証登録係
TEL.０３－３７７７－４１０１
FAX.０３－３７７７－３３２８

15. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。
ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1. 保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して 12 ヶ月間といたします。
2. 保証内容：期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3. 適用除外：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
   （1） 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
   （2） 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不充分が原因による故障。
   （3） 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
   （4） 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
   （5） 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
   （6） パッキン、O-リングなどの消耗品の摩耗。
   （7） お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
   （8） 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
   （9） 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
   （10）過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
   （11）日本国外においてご使用の場合。

   尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記商品については、保証の適用から除外させていただきます。
   ・ホース類　・各種パッキン類　・コード類
4. 補修用部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年とさせていただきます。
   製造打ち切り後 5 年を経過したものにつきましては､供給いたしかねる場合もございますので､何卒ご了承ください。

型　　式	
製　造　番　号	

ご購入年月日	
ご購入の販売店	

⚠ **安全に関するご注意** ／ ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、性能・寸法など改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-4101 (代)	FAX (03) 3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL (011) 821-0630 (代)	FAX (011) 821-0949
仙台営業所	〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号	TEL (022) 343-9410 (代)	FAX (022) 343-9411
東京営業所	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-3171 (代)	FAX (03) 3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL (052) 795-0222 (代)	FAX (052) 795-0444
大阪営業所	〒536-0021 大阪府大阪市城東区諏訪 1 丁目 2 番 20 号	TEL (06) 6967-5301 (代)	FAX (06) 6967-0497
広島営業所	〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号	TEL (082) 275-5852 (代)	FAX (082) 275-5853
福岡営業所	〒812-0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL (092) 581-5477 (代)	FAX (092) 581-6524

YAMADA AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA	TEL 1-847-631-9200
YAMADA EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31-0-74-242-2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区祖冲之路 1500 号 12 号	TEL 86-21-3895-3699

201506 APP022U